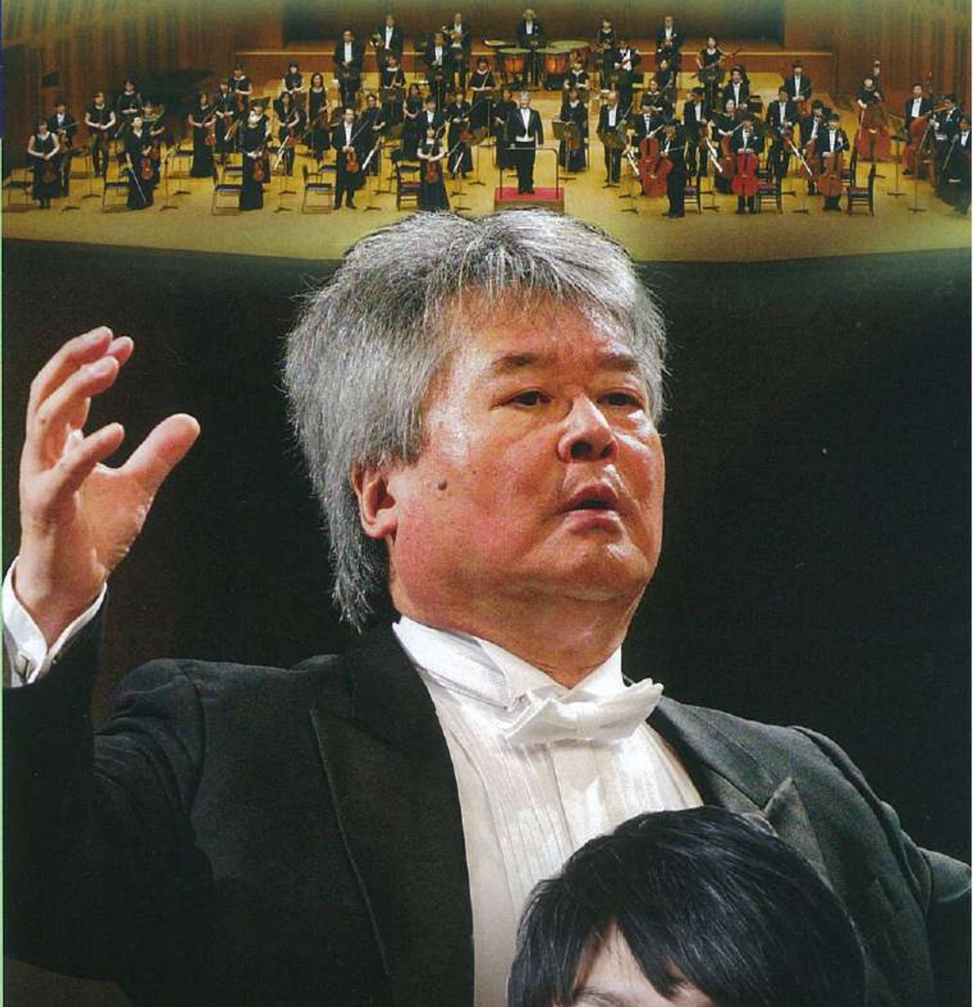
21c
Tokyo 21c Philharmonic

東京21世紀管弦楽団
第4回定期演奏会


©Yosuke Sato

指揮
浮ヶ谷孝夫
Conductor : UKIGAYA Takao

ピアノ
實川 風
Piano : JITSUKAWA Kaoru

メンデルスゾーン
トランペット序曲
Mendelssohn : trumpeten "Ouverture"

シューマン
ピアノ協奏曲イ短調
Schumann : Piano concerto in A minor op.54

シューベルト
交響曲第9番ハ長調「ザ・グレート」
Schubert : Symphony in C major D.944 "The Great"

2022 **4|12**（火） 19時開演（18時開場）
東京芸術劇場コンサートホール

S席：6,500円 A席：5,000円 B席：3,000円 C席：2,000円 全席指定（消費税込）

シニア特典
65歳以上の方にS席を特別価格でご提供致します。 S席：5,000円
★S席のみ。特典チケットは日本アーティストチケットセンターと東京芸術劇場BoxOfficeのみの取扱いとなりますのでご注意ください。

チケットのお求めは —— 2021年12月20日発売

★日本アーティストチケットセンター
TEL 03-5305-4545
★東京芸術劇場BoxOffice
TEL 0570-010-296 ナビダイヤル 休館日を除く10:00〜19:00
● チケットぴあ（Pコード：206−908）
TEL0570-02-9999 https://t.pia.jp/
● イープラス https://eplus.jp
● ローソンチケット https://l-tike.com

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※やむをえず出演者、曲目が変更になる場合がございます。

主催：一般社団法人 東京21世紀管弦楽団
協賛：三菱地所（株） ALBION セントラル自動車技研（株） 西島（株） （株）ポマト・プロ （株）公文教育研究会 （株）日栄サービス（保険コンサルタント）

https://www.21phil.jp/ お問い合わせ●東京21世紀管弦楽団 ☎03-6269-9921 mail:tokyo@21phil.jp

指揮

浮ヶ谷孝夫

東京21世紀管弦楽団 音楽監督

Conductor : UKIGAYA Takao

1953年埼玉県川口市生まれ。世界の最前線でタクトを振る日本を代表する指揮者の一人。1978年に渡独してベルリン芸術大学指揮科のヘルベルト・アーレンドルフ教授に師事。カラヤン、ハンガリー、両国際指揮コンクールで受賞。1986年にはポメラニアン・フィル（ポーランド）のドイツ演奏旅行の指揮者に抜擢され、欧州でデビューを果たした。1987年より、同オーケストラの専属指揮者に就任。多数のドイツ演奏旅行やCD録音で高い評価を得ている。1989年より「ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団」と多数のCD録音。「ポーランド国立放送交響楽団」の専属客演指揮者。1996年に「ドイツ・フィルハーモニア・フンガリカ」日本ツアー。1999年に「北西ドイツ・フィルハーモニー」日本ツアー。2001年、2005年に「ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト」日本ツアー。2003年には同楽団の首席客演指揮者に就任。2010年より愛知県豊橋市の「豊橋青少年オーケストラキャンプ」を立上げ、毎年多くの演奏家の育成に尽力。2013年より東京都主催「歴史的建造物保全プロジェクト・マエストロ浮ヶ谷プロデュース・コンサート」を担当。N響、新日フィル、日フィル、東フィル、名フィル、東京シティ・フィル、東京ニューシティ管、日本センチュリー響などと共演し、多くのファンを持つ指揮者。2019年8月に東京21世紀管弦楽団の音楽監督に就任。ドイツ在住。

©Hiromi Nagatomo

ピアノ

實川 風

Piano : JITSUKAWA Kaoru

2015年、パリのシャンゼリゼ劇場で行われたロン・ティボー・クレスパン国際コンクールにて、第3位(1位なし)、最優秀リサイタル賞、最優秀新曲演奏賞を受賞。2016年、イタリアで行われたカラーリョ国際ピアノコンクールにて第1位・聴衆賞を受賞。現在、日本の若手を代表するピアニストの一人として、国内外での演奏活動を広げる。

ソリストとしてベートーヴェンを核とした本格的なレパートリーに取り組む一方、邦人作品の新作初演などでも作曲家より信頼を寄せられている。海外の音楽祭への招待には、上海音楽祭、ソウル国際音楽祭、ノアン・ショパンナイト(フランス)・アルソノーレ(オーストリア)などがある。

東京藝術大学附属高校・東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。山田千代子、御木本澄子、多 美智子、江口玲の各氏に師事。グラーツ国立音楽大学ポストグラデュエート課程を修了。マルクス・シルマー氏に学ぶ。

東京21世紀管弦楽団

Tokyo 21c Philharmonic

音楽を通して、多くの人たちと手を携え、今までの固定観念にとらわれない新しい時代の「楽しいオーケストラ」を目指して、演奏活動を進めていくオーケストラ。これまでに2019年オスカー新人賞を受賞したテノールのステファン・ポップの日本公演、オペラ界のビッグスター、テノールのファン・ディエゴ・フローレスの日本公演に出演し、好評を博した。浮ヶ谷孝夫（ブランデンブルク国立管弦楽団フランクフルト首席客演指揮者）を音楽監督に迎え、2020年度は東京芸術劇場でベートーヴェンやブラームスといった重厚なドイツ音楽で定期演奏会を行い高評を博した。このほかバレエやポップスにも出演するなど活動の場を広げている。

お昼のコンサートin 紀尾井 Vol.2

2022 5|4(水・祝日) 14時開演 13時開場 紀尾井ホール

チケット：全席指定（消費税込） S席：7,000円/A席：6,000円

●シニア特典：65歳以上の方にS席を特別価格5000円でご提供いたします

指揮：米田覚士　ギター：荘村清志　メゾソプラノ：小川明子

テノール：内山信吾　バリトン：ヴィタリ・ユシュマノフ

ナビゲーター：しげもとまさあき

アランフェス協奏曲　禁じられた遊び

オペラ『カルメン』より "カルメン物語"

ハバネラ『恋は野の鳥』『闘牛士の歌』『花の歌』他